



おおだて

市議会だより



92号

平成21年5月1日



成章保育ルーム
森のおうち入園式



平成21年 **3月定例会** (会期：2月24日～3月17日)

- 主な議案等審査結果 P.2
- 請願・陳情等 P.3
- 一般質問 P.4
- 各常任委員会の審議内容 P.9
- 私もひ・と・こ・と P.10

議案等審査結果(主なもの)

3月定例会 (会期：2月24日～3月17日) …議案等104件を審査しました。

内訳・・・条例案22件、単行案8件、予算案48件、同意1件、諮問1件、報告1件、議員提出分条例案1件、意見書案2件、請願2件・陳情3件、継続審査分請願2件・陳情13件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
<p>○大館市立保育園設置条例の一部を改正する条例案</p> <p>内 容 指定管理者制度を導入することができるようにするため、条例に規定するものです。</p>	賛成多数により 原案可決
<p>○大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案</p> <p>○大館市斎場に関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>○大館市ペット霊園に関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>内 容 上記施設において、指定管理者制度を導入することができるようにするため、条例に規定するものです。</p>	原案可決
<p>○大館市公園条例の一部を改正する条例案</p> <p>内 容 「犬都記念公園ドッグラン」の維持管理を充実させるため、使用料を値上げします。</p>	原案可決
<p>○大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>内 容 市立扇田病院の経営効率化と療養環境の向上のため、同病院の病床数を削減します。</p>	賛成多数により 原案可決
<p>○大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>内 容 市立総合病院駐車場を適正に管理するため、駐車場使用料を徴収します。</p>	原案可決
<p>○平成20年度大館市一般会計補正予算(第5号)案</p> <p>主な内容 市立総合病院・扇田病院を支援するための負担金・補助金の追加、グループホーム施設へのスプリンクラー設置費補助金、生活保護扶助費の追加、生活バス路線維持費補助金 などにかかわる予算です。</p>	原案可決
<p>○平成20年度大館市一般会計補正予算(第6号)案</p> <p>主な内容 定額給付金給付事業、子育て応援特別手当交付金、待機児童解消のための保育園運営費、教育施設等改修工事費、橋梁の補修費、桂城公園の整備費、扇田まちづくり事業費の追加 などにかかわる予算です。</p>	原案可決

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
<p>○平成21年度大館市一般会計予算案 主な内容 高規格救急自動車・消防ポンプ自動車購入費、ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業、市立総合病院・扇田病院を支援するための負担金・補助金、秋田三鶏記念館（仮称）の建設事業費、湯夢湯夢の里流水プールの解体工事費、沼館地区ほ場整備事業費補助金、飼料用米作付支援事業費補助金、桂城小学校・比内・田代中学校の耐震補強工事費、東北中学校バスケットボール大会補助金、市営住宅に係る火災報知器設置と地上デジタル放送対応工事費、二井田・真中地区コミュニティバス運行費補助金 などにかかわる予算です。</p>	<p>賛成多数 により 原案可決</p>
<p>○人権擁護委員の候補者の推薦について 阿 部 鉄 義 氏（白沢2区） 菊 地 さとし 氏（有浦四丁目） 齋 藤 三恵子 氏（川口4区） 多賀谷 京 子 氏（独 鈷） 福 田 照 子 氏（森 越） 松 澤 耕 策 氏（寺 崎）</p>	<p>異議なし</p>
<p>○情報審査会の委員の任命について 石 川 雅 典 氏（北神明町）</p>	<p>同 意</p>

請願・陳情

3月定例会には請願2件、陳情3件が提出され、1件採択、残りの4件は継続審査となりました。また、継続審査となっていたもののうち、陳情3件が採択、請願・陳情それぞれ1件が趣旨採択されました。

3月定例会に提出されたもの

<p>○うつ病等による自殺予防対策について</p>	<p>採 択</p>
<p>○市道有浦東台線に係る安全確保について ○日米地位協定にかかわる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求める意見書の提出要請について ○最低賃金の大幅引き上げと全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書の提出要請について ○後期高齢者医療保険証の取り上げ禁止と保険料減免を求める意見書の提出要請について</p>	<p>継続審査</p>

継続審査となっていたもの

<p>○地方消費者行政の抜本的拡充強化及び法制度の整備等を求める意見書の提出要請について ○介護保険制度の抜本的改善を求める意見書の提出要請について ○妊婦健診を14回まで無料化することについて</p>	<p>採 択</p>
<p>○ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書の提出要請について ○消費税の引き上げに反対する意見書の提出要請について</p>	<p>趣旨採択</p>

－ 意見書の提出 －

介護保険制度の抜本的改善を求める意見書

《提出先》内閣総理大臣、厚生労働大臣

地方消費者行政の抜本的拡充強化及び法制度の整備等を求める意見書

《提出先》衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣

一般質問

会期中の3月2日、3日の2日間にわたって一般質問を行い、次の9議員が市政を取り巻く諸問題について市の方針をただしました。

主な質問と応答の内容は次のとおりです。

○質問者(質問順)

① 高橋 松治 君
(市民クラブ)

② 富 樫 安民 君
(市民クラブ)

③ 藤 原 明 君
(平成会)

④ 佐 藤 久勝 君
(平成会)

⑤ 明 石 宏康 君
(いぶき21)

⑥ 安 部 貞榮 君
(いぶき21)

⑦ 田 中 耕太郎 君
(いぶき21)

⑧ 笹 島 愛子 君
(日本共産党)

⑨ 小 棚 木 政之 君
(平成会)

高橋松治議員



長木ダム建設中止に伴う 代替案未実施について

〈問〉秋田県知事は長木ダム建設を中止するための代替案を約束したが実行していないのはなぜか。

〈市長〉市としては、次善の策として代替施設の建設や河川の適切な管理を県に要望してきた。県とは現在も現状打開に向けた協議を続けており、引き続き代替ダム建設を強く求めていく。

全国学力・学習状況調査の 結果公表問題について

〈問〉秋田県知事が、一方的に公表したことが話題を呼んでいる。知事の行為は教育にとって極めて憂慮すべき事態であり、断じて容認できない。今後は軽率な判断で公表すべきでない。

〈教育長〉知事が実施要領や県

教育委員会の判断を無視して公表したことは、高橋議員が指摘のとおり「遺憾の意」を表明してきたところ。実施に当たっては、児童生徒や保護者、学校に不安や混乱が生じないよう万全を期して臨みたい。そのためにも県教育委員会が、文部科学省の実施要領を遵守するよう強く要望したところ。

市立総合病院の運営方針 について患者の理解を 得る努力をすべき

〈問〉長い間診察を受けてきた外来患者が、医師から市内の医院で診察を受けるように言われたと不満がまん延している。早急に市民に対する理解を得る努力をすべき。

〈市長〉依然として医師を初め病院側の説明不足を指摘する声があることは十分承知しており、患者さんやご家族と向き合った時の丁寧な説明や真摯な応接態度を基本に、誤解や不満が生じないよう努めていく。

当市の伝統を観光産業に 役立てるべき

〈問〉各自自治体は伝統工芸品や文化財等を守り、継承し、観光産業の推進と雇用拡大を図る事業を展開している。当市も大館曲げわっぱ、秋田犬、秋田三鶏を観光資源として滞在型誘客人口

の増加を図るための観光産業に役立てることを考えてはどうか。

〈市長〉本市の観光振興については、宿泊施設等を生かし、三大資源と食文化、鉱山技術を生かしたりサイクル産業などを大事に育てていきたい。

大館クリーンセンターへの 搬入ごみの分別見直しを

〈問〉現在、大館クリーンセンターに搬入されているごみに危険物が混入されている。早急にごみ収集方法を見直しするべき。

〈市長〉搬入ごみには、石油系素材の包装類やトレイ、ペットボトル、プラスチック製品類が多く含まれている。分別の細分化については、有効な分別・収集のあり方について、今一度、調査・検討をする。



故 武田議員

去る3月11日、現職議員の武田一俊さんがご逝去されました。

市議会では、3月定例会最終日、ご遺族参列の中、追悼の儀を執り行いました。議会報委員一同、改めてご冥福をお祈りいたします。

富樫安民議員

緊急地域経済対策

2009年

〈問〉経済不況により中小企業の景況は厳しい。市独自の融資あつせんによる打開策は。

〈市長〉日本経済は回復の兆しが見えない状況。小規模企業融資あつせん制度の新設や既存融資枠の拡大、貸付期間の延長などの要望を十分に調査し適切に対応したい。

〈問〉離職者対策と雇用創出は「待ったなし」の緊急課題。その対応は。

〈市長〉1月末現在、135人が失業中、まだ増える。国の緊急雇用創出事業交付金を活用し68人を雇用する。求職者向けセミナーで53人が就職した。追加対策としてさらに雇用確保に努める。

保育園(所)の
指定管理者制度の
導入について

〈問〉保育園(所)は子育て支援の重要施策である。経費節減の余り、安ければとの認識ではなく、施設の充実、職員の待遇改善など安心・安全・信頼の場として、親しまれる保育サービ

スを進めてほしい。

〈市長〉制度導入は、保育ニーズへの対応、職員の待遇改善、正・非常勤職員のバランスなど園児への適切な対応、保護者に不安を与えないことが絶対条件。全施設同時実施ではなく、直営基幹保育所を数カ所とし、状況を確認・検証し順次導入する。

〈問〉民間保育との連携も密にし、待機児童の早期解消に努めてほしい。その対策は。

〈市長〉市立保育園だけでも100人以上がオーバー。桂城幼稚園の空き教室に有浦保育園の分園を開設。さらに本年度の改築による増員で解消に努めたい。

市立病院の

経営改善について

〈問〉経営改革プランの実現は非常に厳しい。地域医療を守るのは自治体の責務。一般会計からの繰り入れ支援はやむを得ないと思うがその見通しは。

〈市長〉既に上半期で4億円近



い純損失で極めて厳しい。収入増対策のため経営努力はするが、一定基準による一般会計からの追加支援は、地域医療確保のため今後も継続したい。

〈問〉扇田病院は旧比内町民の医療の「とりで」。縮小ではなく診療体制を強化し不安解消に努めてほしい。

〈市長〉病床の削減は実働病床に合わせ6人部屋を4人部屋にするなど患者の満足度を高めるため。訪問診療、夕やけ診療など特色ある病院運営に努める。

藤原 明議員

農業問題について

〈問〉認定農業者の育成と集落営農組織の推進・拡充をさらに強化すべき。

〈市長〉本市の認定農業者数は19年度が365人で本年度は352人となっており、やや減少している。これは、高齢化や経営規模縮小等の理由から認定農業者の更新を希望しない方が出始めた結果。市としては意欲があれば兼業農家でも認定農業者になっていただきたいと希望し



ており、掘り起こし活動を強化していきたいと考えている。一方、集落営農組織については、組織数は17で昨年度末と変わっていない。昨年は12月から、県・市・JAなどで構成する担い手育成支援協議会が推進役となつて15集落で説明会を開催してきた。今後も粘り強く取り組んでいく。

〈問〉飼料米作付に市が助成する支援事業補助金について、事業スパン3年は短いのではないかと。目標面積50ヘクタールは認定農業者と集落営農組織がどれくらいの割合となる予定か。

〈市長〉国産農産物の安定供給体制を確立する必要があることから、国では水田等を有効活用して自給力・自給率向上に結びつく作物の生産拡大を推進するため、水田等有効活用促進交付金制度を新設することとしている。本制度は、転作の拡大、調整水田への作付等により、大豆、飼料作物、米粉、飼料用米等の

作付を拡大した場合、拡大面積に対して助成金を交付するもの。このため、低コスト生産技術や一定程度の経営規模が必要となることから、認定農業者や集落営農組織による取り組みが中心になるものと考えられる。本市での飼料用米の取り組みについては、本年度から試験的な作付を行った上で、今後、拡大していく方針としているが、主食用に比べて相当低い価格であることを考慮し、10アール当たり2万円を上乗せする独自の制度を創設して支援することとしており、事業実施期間は、国と同様の3年間を見込んだもの。また目標面積を50ヘクタールに設定しており、現在、認定農業者、集落営農組織と協議している段階である。

〈問〉農業公社は何年ぐらいで所期の目的が達成可能と考えているのか。自治体が公社の設立や廃止を判断する要件とは。

〈市長〉公社はあきた北農業協同組合などの農業関係機関を構成メンバーとして設立しようとするもの。目標達成には長い時間が必要になると考えている。廃止の要件については、地域農業の持続的発展に寄与することを目的としており、短期間のプロジェクトを実施する組織との位置づけではない。

佐藤久勝議員



緊急の雇用対策について

〈市長〉本市の対策は。

〈市長〉21年度はふるさと雇用再生・緊急雇用創出事業交付金を活用し、農地の面的集積促進事業、市有林枝打ち事業等で31人、さらに、間伐材収集作業委託、体験型観光商品企画事業等も予定し、24人の雇用を見込み、6月補正予算の予定分を含め、現段階では79人の雇用を見込んでいる。さらに上乗せできるように検討している。

米の生産調整について

〈市長〉本市の取り組みを農家に周知してほしい。

〈市長〉国の制度では、飼料用米などの新規需要米について、一定要件を満たせば10アール当たり最大5万5000円が交付される。また、本市独自の施策

として、認定農業者及び集落営農組織を対象に、飼料用米作付支援として、10アール当たり2万円を助成する事業を創設し支援したいと考えており、最大7万5000円になる。主食米を若干下回る程度の金額となり、ぜひとも認定農業者になって取り組んでほしい。

大館市の未収金 (市立総合病院を含めて) の状況について

〈市長〉総額は幾らになるのか。

〈市長〉過年度分を含めた滞納繰越額は市税分や税外収入分、企業会計分合わせて16億6000万円。対18年度比約6200万円増。市立総合病院は、過年度滞納繰り越し分を含めて19年度から20年度に繰り越された総額は1億9400万円、18年度より約1300万円減となる。

〈市長〉未収金対策は。

〈市長〉悪質なものに対しては法的措置を講ずるなど厳しく、経済的に困窮して納付が困難な方に対しては分納措置を講ずるなど未収金の回収を図っていく。

大滝温泉七輪閣の

安全性について

〈市長〉市としての対策は。

〈市長〉平成6年に倒産、現在は破産管財人も任を解かれ、所有者は不在。最近になって供託

金の一部で、最も危険な市道側に傾いた柵の落下防止工事を完了している。当面危惧する事態は避けられるものと思っている。

大館地区総合制高校の設置場所について

〈市長〉いつごろの建設見込みか。

〈市長〉大館地区については総合制高校と合わせ定時制基幹校の大館高校や老朽化が著しい県立比内養護学校を含めた包括的な検討が必要なことから時間がかかっており、場所の決定には至っていないとのこと。

明石宏康議員



市立病院の

経営改革について

〈市長〉地域社会に向け提示した

改革プランは、政治家でいえばマニフェストと同じ。管理者は大きな権限と同じだけの責務を

負う。全国の自治体が次々と破綻し、地域の医療現場そのものが崩壊の危機に瀕している。指定管理者制度移行に際して一たん全職員を解雇、新たな条件に合意した人だけを再雇用した病院の事例もあり、人ごとではない。経営改革の途上で、時には現場の医師と衝突したり、経営状況次第では労使交渉での悪役になることが絶対ないとも限らない。管理者にその覚悟はあるか。

〈病院事業管理者〉管理者として1年間、総合・扇田の2つの病院を見させていただき、やるべき課題は整理されてきた。患者の気持ちを大事にしながら、誤解・不満の生じないよう努める。

〈市長〉医療機器購入への繰出金は巨額だが賛成だ。私は医師ではない。だから選定の議論はできないし、ドクターを信頼するだけで。疑うのではなく信じるのが正しいことだ。

〈病院事業管理者〉各メーカーのプレゼンを受け、各委員の評価で公正に選定する。

心の病に苦しむ方から

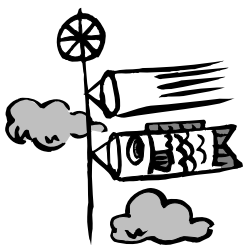
市に届いた

請願書について

〈市長〉ただでさえ病気で引きこもりがちな患者が「自分たちの居場所がない」と悩んだ末、意

を決して議会への請願書提出に踏み切っている。彼らの声なき叫び、「自分たちを助けてほしい」、このリアル過ぎるSOSを傍観することなどできない。専門医の治療以外でも、私たち行政側が支援できることもきつとある。市内には数多くのNPO団体があり、患者の心をくみ取ってあげられる人材も圏域にはきつといるし、努力すれば確保できるはずだ。今すぐ準備を始めるべきだ。

〈市長〉居場所づくり事業に積極的に取り組める市内の団体と連携・協力して取り組む。大館市自殺予防協議会のメンバーでもある市内のNPO団体が旧正札竹村ビルへ移転した場合、ここに十分なスペースを確保できるものと考えている。自殺予防窓口の記載されたパンフ「ふきのとうホットライン」等を市民に配布するなど、これまで以上に相談窓口の周知を図っていきたい。



安部貞榮議員

都市計画マスタープランの
具現化の取り組みは

〈問〉平成19年に策定された本プランは、基本理念を「人、まち、自然が調和するまち育て」とし、全体構想と6つの地域別構想から成り立っているが、これの具現化をどう進めるのか。

〈市長〉まちづくりを進める原動力は市民参加であり、地域の核となるリーダーや人材育成が課題であることから、今後は、各地域のまちづくり協議会と連携し「人づくり、人の輪づくり」を進めながら具現化を図る。

旧正札竹村の改修等は

〈問〉この店舗の一部を改修して、北部男女参画センターに何年ぐらい貸し付けするのか。この店舗を今後どうしようとしているのか。また住宅マスタープランの成案を含めて大町周辺全体の再生整備構想を市民にいつごろ公開するのか。

〈市長〉県の北部男女共同参画センターの貸付期間は、県の意向を踏まえ、旧正札街区の開発計画を勘案しながら協議してまいりたい。また旧正札の施設は実現可能な開発案を模索してき

たが、社会経済の急激な悪化などから解体しての開発は相当時間を要することから、当面は建物リニューアルによる部分活用とし、さらに住宅マスタープランは市営大町住宅、新町・中町・向町住宅の建て替え、旧正札の再利用など団体や住民等と協議・再検討し大町全体の総合開発の方向づけをしたい。

飼料用米作付助成金
について

〈問〉交付対象者を認定農業者、集落営農組織に限らず生産調整実施農家まで交付する考えはないか。

〈市長〉市独自の飼料用米作付支援制度を創設し、国が21年度から行う10アール当たり5万円から5万5000円を上乗せしようとするもので、農家の皆様には認定農業者になって取り組んでいただきたい。

6次産業化を言めた
市独自の農業振興策を

〈問〉市の決算統計から農林業



の決算額を見れば、一般会計総額に占める割合は、平成12年度の7・2%をピークに年々減少し、19年度は2・4%となり、県内25市町村の中で24番目の低い状況から見ても、市の基幹産業の一つとして6次産業化を含めた振興策に取り組むべき。

〈市長〉農業の6次産業化は農業及び地域の活性化にとっても重要であり、農家組織による直売所活動などあるが、農業関係者だけで産業化することは困難と考え、一部民間活動を参考としながら本市の地域資源を生かした農業の6次産業化を検討してまいりたい。

田中耕太郎議員

公共施設の管理について

〈問〉2010年には、公共施設の半分以上が築30年以上の建物になり、大規模修繕費用が一気に膨らんでくる。先送りした、目に見えない隠れ負債として後世のツケにならないか。

〈市長〉担当部署が工夫しながら管理運営し、学区再編など公共施設のあり方を総合的に見直す体制を整えている。

〈問〉大町市営住宅管理費に、1戸につき毎月3万円もの補て



んの必要があるのか。市民の血税を特定の入居者に分け与えるあり方は市民の理解が得られるのか。

〈市長〉まちなか居住推進のための政策的経費と位置づけている。

市立総合病院の経営について

〈問〉19年度は一般会計から3億円超の繰入金を受けているにもかかわらず14億円の純損失を計上。繰入限度額を明文化すべき。

〈市長〉市税調定額の状況、一般会計の財政状況と合わせ、病院の収支状況も十分検討する。

〈問〉3年をめどに黒字化が実現できるのか。病診連携と云いながら、その都度、初診料負担があるため行きにくくなったとの声をよく聞く。2次医療として襟を立てたが、新患が気軽にいけない地方病院となって生き残れるのか。「キーたたく医者」は患者の顔を見ず。市立病院は、そうならないと思う

が、市立病院の実態が本当に健全経営に結びつくのか。

〈市長〉早期に黒字となるよう経営改善に全力で取り組む。

〈問〉昨年10月、骨折の患者を停電で診られないというのは、高度医療を標榜する市立病院として一体どういうことか。

〈病院事業管理者〉電気設備点検が2日間実施され、X線ほか各種検査機器が使用不能となり、救急外来を休診とし、救急車の受け入れは他院にお願いした。

〈問〉経済不況克服の柱として建設業界にどのように対処しているのか。行財政改革のありで経営の破綻が加速度を増しているのが地方建設業界。工事の発注は、元請けから孫請けまで地元企業に、もっと早く対応していれば良かったのではないか。

〈市長〉市として早期発注、工事代金の支払い迅速化に努める。

〈問〉繰越明許で工事費のかかり増しはないか十分検査・検討しているのか。工期延長に伴い契約額が膨らむケース、また、その要因が人的なものであつてはならない。葛原橋は繰越明許になっているが、通行はさせ、工事はまだ続くのか。

〈市長〉今後はきめ細かく事業を精査した上で工期を設定していくほか、繰り越しの合理的な理由について十分に検討して対応する。

笹島愛子議員



地域経済の活性化は「人手のかかる仕事」、マンパワー事業を
NPOやNVCを

住宅用火災報知器の設置義務化への対応は

設置しない理由、設置できない理由を把握しているのか。

高齢者の方は、どこで売っているのか、1個どのくらいするのか、何個必要なのか、自分でつけられるのか等々の心配があるようだ。このような疑問、経済面などへの配慮など、市のきめ細かな対応が必要と考える。

〈市長〉 今後、広報活動を各町内会、自主防災組織などに広めるとともに、各種会合、防災座談会などで説明。割安な共同購入や器具の設置方法など詳しく説明し、啓発していく。

市立保育園の管理運営について

〈問〉 厚労省は保育も市場にゆだねようとしている。国の保育制度改革に市長はどのような見解を持っているのか。また、少子化対策のなめは公立保育園の充実と考える。さらに、保育園の多様化への対応は公立保育園こそが担うべきだ。

〈市長〉 国の提示内容はまだ1次報告であり、地方の実情に合わないものがあるなど今後検討の余地があるとされているので動向を見守りたい。さらに、少子化対策として保育に対する要望に耳を傾け保育施設の整備に

努める。また、保育へのニーズの多様化に対しては、保育所ごとにきめ細かい柔軟な対応が必要だが、行財政改革を推し進める中では困難な状況。

比内・田代地域の空き小学校・空き保育所等の活用について

〈問〉 大事な市の財産を有効的に、それも地域の方々が望む方向で、さらに雇用創出もできるように。

〈市長〉 今後の活用については、地区の要望を伺いながら、全庁的に検討し、案を提示していくなど地域コミュニティーに資するよう努力する。

駅前再開発の見通しを

〈問〉 人口減少時代への対応として滞在人口増による「ひとを呼び込むまちづくり」で活気を

まちの最低限の条件整備を。駅はまちの顔、方向性は行政しか出せない。計画が見えないと民間投資は進まない。

〈市長〉 JRや民間事業者と官民協働による整備を図っていきたい。

観光施策と体制の見直しを

〈問〉 観光の概念は変わった。可能性がありながら商機を逃している。観光関連組織を一体化し、映画製作支援(FIC)、会議誘致調整機能(CB)までを備えた新たな仕組みを考えては。

〈市長〉 観光振興組織の統合など見直しが必要。早急に新たな組織づくりを目指す。

情緒あるまちづくりをスタートさせては

〈問〉 建設投資が進まない今こそ情緒あるまちづくりの計画を作る好機。景観行政団体への申請計画や旧町名の復活などから始めては。

〈市長〉 景観行政団体の指定で事業や補助金も得やすいが、規制もあり市民との合意形成が必要。他施策との調整も必要。

ユニバーサルデザイン(UD)のまちづくりの推進を

〈問〉 ふたのない側溝が多く、歩道に電柱があったりする。歩道のない車道で横の傾斜がきつく車いすの走行にも難がある。「ひとに優しい」視点で生活インフラの再点検を。予算が厳しい時代、「雪国らしいUDのまちづくり」など、国に先進性を提案、支援策を取り付けては。

〈市長〉 歩道除雪の徹底や段差の解消などバリアフリー化を推進するとともに再点検を行う。

樹海体育館と樹海ドームは一括指定管理に

〈問〉 個別管理で大きなイベントを逃している。一括指定管理が効果的。スポーツ課は企画業務に専念させ、施設は指定管理を進めては。

〈市長〉 一括指定管理が望ましく、他施設も全般的な見直しが必要。スポーツ課の業務についても課題を整理し検討する。

市東京事務所の設置を

〈問〉 県東京事務所への派遣が切れる。予算が厳しくても情報に近いところに拠点を持つべき。

〈市長〉 官庁、企業との人脈を強化し、情報をできるだけ早く集め施策に生かしたい。



小棚木政之議員

委員会から

--*-*-*
 会期中の3月4日、5日、6日、9日、11日、12日の6日間にわたって各常任委員会で付託された議案等について審査を行いました。各委員会からの主な報告は次のとおりです。
 --*-*-*

総務財政常任委員会

◆条例の一部改正について

人事院勧告に基づき、職員の勤務時間を1週間当たり40時間から38時間45分に、また、職員の通勤手当の減額や、副市長の給料月額減額期間をさらに1年延長するなど、条例改正案を全会一致で可決した。

◆予算案について

20年度補正予算では、国の第2次補正に伴う定額給付金、給付対象約8万2000人、総支給見込み額約12億8600万円の計上などを、また、21年度当初予算では、〈歳入〉第一・比内・成章中学校の学校耐震事業、国庫補助金約7000万円など、〈歳出〉旧産業部棟の建物解体費や、消防北分署に配置する高規格救急自動車購入費などについて審議。その結果、当初予算の一部に反対意見があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

◆中期財政計画について

平成24年度までの財政収支を



改修が予定されている桂城橋

3パターンで試算、毎年見直しを行っている。いずれも厳しい試算結果が示され、委員からは「763億円ある債務残高を早急に償還すべき」「下水道事業に莫大な借金を抱えるより合併浄化槽等へシフトすることも一考では」などの意見が出され、市長は「これ以上借金を増やさない、返せるときは早期に返す、低利へ借り換える、この3原則を徹底する」「後世に残す財産が下水道」との考えを示した。

厚生常任委員会

◆保育園の指定管理について

市立保育園に指定管理者制度を導入する条例案が今定例会に提出された。今回は委員からは、民営になることの不安など多くの意見が出された。総括質疑において市長は「官民協働で行い、責任は今後も市にある」として理解を求め、「現在8園ある保育園のうち、基幹となる保育園として城南・有浦など4園を市直営のままとし、残りの4園は保護者などの理解を十分に得た上で22年度から順次指定管理に移行していく」と説明した。

◆保育園の待機児童について

依然として待機児童は多く、特に有浦・城南保育園に入園希望が集中している状況。さらに、有浦保育園は築33年で老朽化していることから、22年度に全面改築が計画されている。その対策として、桂城幼稚園の一部を改修し、21、22年度は有浦保育園の分園及び改築中の仮園舎とし、23年度以降は城南保育園の分園として利用することが説明された。有浦保育園の改築で定員は100人から120人に増える。また、民営の保育園の協力も得ながら待機児童ゼロを目指す。本委員会では有浦保育園の園舎の状態と桂城幼稚園の改修予定部分の現地調査を行った。

教育産業常任委員会

◆大館市農業公社について

県の秋田県ふるさと雇用再生特別交付金を財源に、大館市農業公社を設立し、遊休農地・耕作放棄地の面的集積による利用調整業務を委託することにより、地域農業の持続的発展を推進するとともに、離職者の雇用創出を図る計画が示された。委員からの「農業委員会やJAなどとの積極的なかわりを持つのか」とのその効果への疑問に、市長は「座して死ぬか、それとも前へ一歩出て農業の再生を図るのか。一歩出るのが今回の農業公社。関係方面と話し合いながら、最終的に2000ヘクタールの不耕作地の解消を図る」と答弁した。

◆小・中学校施設の緊急経済対策事業について

市の緊急経済対策事業の一環として、12月補正予算で承認した小・中学校施設を対象とした修繕料の執行状況が報告された。修繕箇所調査は、各学校からの要望に基づき旧大館・比内・田代地域の技能組合に依頼し、業者選定は、すべて小破修繕のため、主に各地域の技能組合員の見積もり合わせによって行われたとのことであった。

建設水道常任委員会

◆桂城公園改修事業について

国の生活対策臨時交付金事業を活用し、桂城公園及び桂城橋の大規模改修工事を段階的に行う予定であることが都市計画課より示された。期間は24年度まで、21年度はサークルベンチの改修や噴水の漏水改修、お堀の整備、桂城橋の塗装や耐震診断等を計画している。21年度実施予定の事業費は1670万円で、24年度までの全体整備事業費は7750万円に上ることが説明された。

◆旧正札竹村の有効活用について

正札の一部を改修し、男女共同参画センターへ貸し出す件について「5年間の賃貸契約ではなく、長期間利用をしてもらえよう働きかけや、竹村全体の有効利活用のためのマスタープランを策定すべき」との委員の意見に対し、市長は、マスタープランを早急に示すことを約束し、具体的には「商品のデパートではなく、NPOのセンターや個々の事務所、認定保育園、デイサービスセンターといった福祉のデパート、また利用率が高い中央公民館の分館として、カルチャースクールなどの活動場所の確保も良いのではないか」との構想も示した。

私もひびく(10) ④

このコーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿ください。

東町 町内会長

川上 勝男さん



「町内会長の独り言」

再三の説得を断り切れず、町内会長を引き受けて8年が経過。この間、町内の住環境を少しでも良くしようと町内の方々の声に耳を傾けながら、微力ではありますが自分なりに努めてきました。

私は日常的に関心のあるテーマについて議会で一般質問がある場合は時々傍聴に行っていますが、一般質問を聴きながら、ふと考えることがあります。それは、議員は市民の声をどんな方法で集約・把握し、質疑に反映させているのだろうかということです。選挙の

時「市民の声を市政に」と声高々に叫んだ候補者は、当選後はそのことを余り意に介しないようです。確かにある会派は定期的に地域住民と対話集会を実施し、個人的に市政報告会を開催している議員もいるようですが、それらは例として少ないような気がします。

市民の声に耳を傾けるということに關しては、市長の姿勢にも疑問を感じています。例えば、市当局と市内全町内会長との意見交換の場を市主催で開催してほしいとの願いに対し、市当局は文書でこう断ってきました。市長名の回答文書によると「地域の諸問題に当たるための自発的な自治組織の町内会の会長は、同じ自治組織として市と対比した場合、市長と対等の立場にある」とし、「町内会長会議の場の設定や、会議へのオブザーバーとしての参加などはお手伝いしたい」と述べています。凡庸な私の頭脳では理解できない断りの理由で、要は市長として町内会長たちとの意見交換の場では能動的

に聞く意思はないということのようです。

従来実施していた町内会長対象の除雪説明会の開催の継続を求めているにもかかわらず、市は取りやめてしまいました。その一方で、市の行政の一環と思われる、ごみ・除雪・募金・その他の取り組み協力要請が行政協力員ではなく、なぜか町内会長あてに市長から届きます。それはなぜかと問いただしたところ、回答書によれば「行政協力員は市政の円滑な運営と行政効率の向上を図ることを目的とする」とし、年2回の会議を開催していると言います。なののである。ちなみに、社会福祉協議会は、業務内容説明の地域座談会や赤い羽根共同募金の説明会など、町内会長ら関係者対象の取り組みをしており、その姿勢は評価できます。

最後に一言、大館市が夕張市のように財政破綻しないように、市民も市政に関心を持ち、時には議会を傍聴することも大切なことかと思えます。

大館市議会トップページ

検索



お知らせ
3月よりインターネット上の大館市議会のページを大幅にリニューアルし、掲載しております。また、顔写真入りの議員名簿も新たに掲載しましたので、どう活用下さい。

編集後記

県知事選も終わり、近隣市町の首長の顔ぶれも変わった。厳しさを増す自治体運営に、同じ地域として協力体制をとって臨んでほしいものだ。議員任期も折り返し点を迎え、残り2年となった。この間、同僚議員が2人逝去され、哀悼の意を表するとともに、日常的な健康診断の重要性を改めて実感している。

議会報のメンバーも今号限りで入替えとなる。2年前の議会報と比較して変化した点は一目瞭然であるが、より愛読される議会報を目指して、今後とも努力していきたい。

(武田 晋 記)